

2025 年 9 月 17 日

日本家庭科教育学会東北地区
会員 各位

日本家庭科教育学会東北地区
会長 堀江さおり(秋田大学)

日本家庭科教育学会東北地区

2025 年度（第 48 回）大会・総会のご案内 【第 2 信・修正版】

初秋の候、会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

日本家庭科教育学会東北地区 2025 年度（第 48 回）大会を下記の日程で、オンライン開催いたします。
研究発表の視聴ならびに公開講演会は非会員の方のご参加も可能です。多数の方々のご参加を心よりお待ちしております。

なお、当日は慣れないオンラインによる開催のため、通信トラブル等でご迷惑をおかけするかもしれませんが、何卒ご了承下さい。ご理解、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

記

1. 期日 2025 年 9 月 27 日（土）9:30～14:35

2. 会場 Zoom を使用したオンライン開催

○参加用 Zoom ID

参加申込者に 9 月 23 日頃にご連絡いたします。

3. 日程 (注)第 1 信より変更がございますので、ご注意ください。

9:30～	入室開始
9:40～10:40	総会
10:50～11:50	講演会（質疑応答 10 分を含む）
	演題 「高等学校公民科「公共」と家庭科～教科連携の課題と展望～」
	講師 加納 隆徳 氏（秋田大学・講師）
11:50～13:00	昼休み
13:00～14:35	口頭発表

【講師紹介】

◆プロフィール

愛知学院大学法学部卒、筑波大学大学院教育研究科修了。
岐阜県立高等学校教諭、東京学芸大学附属高等学校教諭。帝京大学教育学部特任講師をへて、
秋田大学教育文化学部講師。
専門分野：社会科教育学、公民科教育、法教育

◆主な著書

東京書籍『現代社会』（編集委員）、小貫篤・加納隆徳編著（2023）『中高生からの法と学校・社会』清水書院

4. 参加申込ならびに総会欠席の場合の委任状回答

(1) 追加の参加希望

下記の大会・総会参加申し込みのURL にアクセスするか、または QR コードを読み取り、グーグルフォームで必要事項を記入の上、9月22日(月)正午までに送信してください。



<https://forms.gle/zw4w2NKzLciizBgw8>

(2) 大会・総会にご欠席の場合

上記 URL にアクセスし、**「欠席」の回答と、総会議決の委任について回答**をお願いします。郵送等での委任状は受け付けておりません。

5. 参加費
無料

6. 地区会費の納入

地区会費 (1,500 円/年) を下記口座へ送金してください。

【ゆうちょ口座からの口座間送金】の場合

「ゆうちょ銀行」(普通)

■口座番号：18360 3810501 ■名義：日本家庭科教育学会 東北地区会

【他行からの振込】の場合

「ゆうちょ銀行」(普通)

■店名：八三八 店 (ハチサンハチ店) ■口座番号：0381050

※2024 年度以前の年会費が未納の方は、別途メールにて連絡いたします。

ご確認の上、2025 年度の年会費と併せて納入をお願いいたします (2020 年度会費は無料)。

※毎年、会計監査を3月15日頃実施しております関係上、地区会費は3月上旬までにお支払いいただきますようご協力をお願いいたします。

7. 大会・総会に関する問合せ先

【事務局】〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1 秋田大学教育文化学部 堀江さおり

E-mail: shorie@ed.akita-u.ac.jp / TEL & FAX : 018-889-2530

8. その他

○住所変更等ございましたら、お手数ですが事務局まで Email でご連絡願います。

○地区会からの連絡は経費削減のため E-mail を活用させていただいております。E-mail をお持ちでメールアドレスを登録されていない方は、是非、事務局までご連絡願います。

○地区会誌『東北家庭科教育研究』は、著者編集の形式で投稿いただくことになっております。なお、投稿締め切り時期につきましては、**2025 年 12 月上旬**で検討しております。投稿をお考えの方はご留意下さい。総会后、速やかに会員の皆様にお知らせする予定です。

日本家庭科教育学会東北地区 2025 年度（第 48 回）大会 研究発表一覧

（ 13：00～ 口頭発表にあたっての諸注意の説明 ）	
セッション 1	
13:05～	発表 1：小学校家庭科「家庭の仕事」における学習指導の検討 — 名もなき家事と生活の行為・活動に着目して— ○角間 陽子（福島大学）、佐藤 文江（福島市立野田小学校）
13:15～	発表 2：中学校家庭分野における幼児体験学習の授業提案 — 幼児の身体的特徴を理解する教材製作を通して— ○倉茂 優（福島大学院生）、角間 陽子（福島大学）
セッション 2	
13:25～	発表 3：繊維製品の取り扱い表示に関する研究 — 大学生を対象としたアンケート調査— ○井上 美紀（東北生活文化大学・非）、菊地 紗代（東北生活文化大学）
13:35～	発表 4：地域資源を活用した被服教材の考案に関する研究 — 桃とりんごの剪定枝に着目して— ○千葉 桂子（福島大学）、葛西 美樹、工藤 寧子（柴田学園大学） ※「2024 年度 日本家庭科教育学会・東北地区会助成金」を受けた研究です。
13:45～	発表 5：郷土料理の特質と調理学習に関する考察 — 青森県の郷土料理「けの汁」を例に— ○谷本 憂太郎（弘前大学）
休憩 10 分（13:55～14:05）	
セッション 3	
14:05～	発表 6：教育実習における評価観の共有を支えるしくみと協働的方略の実践 ○前田 まどか（宮城教育大学）、猪股 智秋（宮城教育大学附属中学校）
14:15～	発表 7：実践的指導力の基盤づくりを目指した模擬授業の効果 ○青木 香保里（愛知教育大学）、日景 弥生（弘前大学大学院）
14:25～	発表 8：家庭科教員のキャリアステージに対応した研修システムの検討 — 家庭科担当指導主事対象の教科研修の実態調査から— ○志村 結美（山梨大学）、青木 香保里（愛知教育大学）、日景 弥生（弘前大学大学院）